

Q 2 新教育課程全面実施までの移行期間において、どのようなことに留意していく必要があるか。

A 各学校においては、現行の学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえ、地域や学校及び児童生徒の実態に基づき、特色ある教育課程の編成・実施に取り組んでいる。新学習指導要領に基づく教育課程移行期間においては、次のような点に留意していただきたい。

1 教育課程についての評価を行う

現在の教育課程についての自己評価を行い、その結果を十分に分析し、改善の具体策を検討する必要がある。

2 新学習指導要領についての理解を図る

平成20年度より新教育過程説明会が3年計画で実施されている。各学校においては、新学習指導要領の改訂の趣旨や内容について情報を共有し、全教職員で共通理解を図りながら、移行期間における教育課程編成の準備と実施にあたる必要がある。

特に、次の資料については、教職員に配付するとともに、校内研修で共通理解を図ることが望まれる。

移行の手引 (栃木県教育委員会HP)

進んでますか 移行の準備 - 小学校 移行の手引 -

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/gakkoukyouiku/shouchuu/1228991592357.html>

進んでますか 移行の準備 - 中学校 移行の手引 -

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/gakkoukyouiku/shouchuu/1228991592357.html>

小・中学校新学習指導要領Q & A (教師向け) (文部科学省HP)

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/qa/qa.pdf

移行措置関連資料 (文部科学省HP)

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/index.htm

新学習指導要領解説 (文部科学省HP)

小学校学習指導要領解説

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syokaisetsu/index.htm

中学校学習指導要領解説

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chukaisetsu/index.htm

3 全教職員により教育課程の計画・実施・確認・評価を行う

学校では、学校暦等による標準授業時数についての共通理解や、週案の活用による時数管理に努めている。移行期間中においては、未履修が生じないように、今まで以上に、学校体制での計画・実施・点検・評価を行う必要がある。

また、教育課程の実施状況等の点検・評価の結果に基づいた見直し・改善にあたり、今まで以上に、教職員と保護者・地域住民が学校運営の現状と課題について共通理解を図り、学校関係者評価を充実させていくことなどにより、自己評価の客観性を高めながら、学校の特色づくりの具現化を目指し、適切な教育課程の編成と実施に努めていく必要がある。